



Nomura Research Institute Group



2023年10月26日

各位

会社名 株式会社 野村総合研究所
 (コード:4307 東証プライム市場)
 代表者名 代表取締役会長 兼 社長 此本臣吾

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回公表予想 (A) (2023年4月27日公表)	720,000	117,000	115,000	78,000	132円13銭
今回修正予想 (B)	735,000	120,000	118,000	80,000	136円21銭
増減額 (B-A)	15,000	3,000	3,000	2,000	
増減率 (%)	2.1	2.6	2.6	2.6	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	692,165	111,832	108,499	76,307	128円92銭

(2) 業績予想修正の理由

情報システム投資は、ITを用いたビジネスモデルの変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）を中心に企業の投資意欲が高く、活況を呈しています。

当社グループの業績も堅調に推移していることから、足元の受注環境を踏まえ、業績予想を修正します。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回公表予想 (2023年4月27日公表)	24円00銭	24円00銭	48円00銭
今回修正予想		26円00銭	50円00銭
当期実績	24円00銭		
前期実績 (2023年3月期)	22円00銭	23円00銭	45円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の継続的な向上が最も重要な株主還元と考えています。剰余金の配当については、中長期的な事業発展のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することを基本とし、連結配当性向(※)35%を目安に、事業収益及びキャッシュ・フローの状況等を勘案して決定します。なお、資本効率向上によるさらなる株主還元を目指し、配当性向を段階的に上昇させ、2026年3月期の連結配当性向を40%とする方針です。

上記方針及び当年度の業績を踏まえ、2024年3月期の期末配当予想を、前回公表予想から2円増額し、1株当たり26円に修正します。これにより、年間の配当金は、2023年11月に実施予定の配当金(基準日は2023年9月30日)と合わせ1株当たり50円となり、修正後の予想に基づく連結配当性向は36.6%となります。

※ 連結配当性向 = 年間配当金総額 (NRIグループ社員持株会専用信託に対する配当金を含む。) ÷ 親会社の所有者に帰属する当期利益

以上

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提(仮定)に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、ITサービスの市場需要、他社との競争、税制その他諸制度の変更などがありますが、これらに限定されるものではありません。なお、新たな情報や事象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 IR室長 藤岡邦明
TEL : 03-5877-7072 E-mail : ir@nri.co.jp